

平成 30 年 11 月

各医療機関長様  
輸血担当者様

埼玉県合同輸血療法委員会（※）  
代表世話人 池淵研二  
同委員会・輸血業務検討小委員会  
委員長 坂口武司

輸血用血液製剤の廃棄と「赤血球不規則抗体保有カード」に関する調査について（お願い）

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当委員会では、①輸血用血液製剤の廃棄に関することと②「赤血球不規則抗体保有カード」の発行と運用に関するアンケート調査を下記のとおり実施することになりました。

お忙しいところ恐縮ですが、本アンケートの趣旨にご賛同の上、回答いただければ幸いです。

#### 記

#### 1. 目的：

- ①埼玉県の医療機関の血液廃棄の実態を調査し、献血血液の有効利用と廃棄血削減に資する。
- ②埼玉県における「赤血球不規則抗体保有カード」の発行状況と運用上問題点を把握する。

#### 2. 対象施設：

赤血球製剤を年間に 100 単位以上供給を受けた 223 施設

#### 3. 調査内容：

- ①医療施設の特徴と管理体制、2017 年（1 月～12 月）に輸血を実施した患者数・日赤血液製剤の使用実績・廃棄本数を調査する。
- ②「赤血球不規則抗体保有カード」や類似カード等の発行件数と他院で発行したカードの受取件数及びその問題点と意見について調査する。

#### 4. アンケートの回収方法：

同封の返信封筒に入れ、赤十字血液センターの血液お届けの際にセンター職員にお渡しください。輸血の発注予定がない場合は、お電話いただければ取りに伺います。

#### 5. 提出期限：2018 年 12 月 28 日

#### 6. お問い合わせ：埼玉県赤十字血液センター 学術課（埼玉県合同輸血療法委員会事務局）

TEL：048-720-8006 E-mail：[st-godoyuketsu@ktxs.bbc.jrc.or.jp](mailto:st-godoyuketsu@ktxs.bbc.jrc.or.jp)

※埼玉県合同輸血療法委員会は、国の通知に基づき埼玉県が平成 21 年に設置した委員会です。主に血液製剤の適正使用・輸血医療の安全性向上について検討しています。